

ま
と
つ
ば

講師養成講座 初級

北部開催

受講生募集

受講料無料

しまくとうば講師養成講座

しまくとうばのネイティブの話者が減っていく中、琉球語（琉球諸語）は、ユネスコの危機言語に指定されました。沖縄県下の各地域、シマジマの言葉を護り、後世に伝えていくため講師の養成講座を開講致します。

カリキュラムは3段階に分かれています。初級（しまくとうば概論・基礎知識）、中級（しまくとうば教材研究）、上級（しまくとうば教育法）となっています。今回は初級の講座となります。今年度は公立大学法人名桜大学と共同して行います。

合格者には沖縄県より県知事名で認定証を発行いたします。しまくとうばの普及継承のため、多くの方の受講をお待ちしております。

■講師紹介（敬称略）

狩 俣 繁 久

琉球大学 島嶼地域科学研究所 教授
専門分野 国語学・言語学・音声学・琉球語学・形態論
著書：『琉球宮古方言の音声学資料の収集・研究』
『宮古諸方言音韻』（1998年・琉球大学）他

中 本 謙

琉球大学 教育学部 学校教育教員養成課程 教授
専門分野 日本語学
著書：『沖縄文化はどこから来たか：グスク時代という画期』（2009年・森話社）
『しまくとうば読本（監修・沖縄県）』他

仲 原 穩

琉球大学、沖縄国際大学、名桜大学他 非常勤講師
専門分野 日本語学・琉球語学
著書：『沖縄語の入門 たのしいウチナーグチ CD付改訂版（共著・2006年・白水社）』
『しまくとうば読本（監修・沖縄県）』他

内 間 早 俊

昭和薬科大学附属高等学校・中学校
教諭 国語
著書：『奄美・沖縄方言における力行子音体系の変遷（2010年・東北大）』
『方言を伝える—3.11東日本大震災被災地における取り組み（2015年・ひつじ書房）』他

高 良 倉 吉

琉球大学 名誉教授
専門分野 琉球史
著書：『琉球から沖縄へ（1986年・ポプラ社）』
『琉球王国の探求（2011年・榕樹書林）』
『沖縄問題—アリズムの視点から（2017年・中公新書）』他

高 橋 恵 子

沖縄の民俗信仰や御願の研究に従事し、メディアなどでも御願についての講演や講義を行なう
著者：『沖縄の御願ことば辞典（1998年）』
『暮らしの中の御願—沖縄の歴史と祈り（2003年・ボーダーインク）』
『沖縄の年中行事（2009年・那覇出版社）』他

■令和元年度しまくとうば講師養成講座初級講座内容

月日	1コマ目（9:00～10:30）			2コマ目（10:40～12:10）		
9/28 (土)	① なぜしまくとうばを学ぶか 消滅の危機に瀕しているという私たちのしまくとうばを復活させるために、我々はどうなことをするべきか考えます。	狩 俣 繁 久	②	しまくとうばの定義と現状 しまくとうばの具体的な継承状況など、沖縄県内の言語事情について見ていきます。	中 本 謙	
10/6 (日)	③ しまくとうばの区画 しまくとうばはどのように地域的に分類されるかを学びます。	仲原 穗	④	一般音声学1 普段日常的に話されていることばはどのように発音されているのか、まずは母音について調音音声学を用いて理解します。	中 本 謙	
10/12 (土)	⑤ 一般音声学2 普段日常的に話されていることばはどのように発音されているのか、ここでは子音を中心に調音音声学を用いて理解します。	中 本 謙	⑥	しまくとうばの母音 音声学を踏まえて、しまくとうばの母音について見ていきます。	中 本 謙	
10/19 (土)	⑦ しまくとうばと歴史1 しまくとうばを学ぶ前に琉球・沖縄の歴史について学びます。（前編）	高 良 倉 吉	⑧	しまくとうばと歴史2 しまくとうばを学ぶ前に琉球・沖縄の歴史について学びます。（後編）	高 良 倉 吉	
10/26 (土)	⑨ しまくとうばと民俗1 沖縄の旧暦行事などで唱えられるウグゥンクトウバ（御願言葉）と祖先祭祀の心について解説します。	高 橋 恵 子	⑩	しまくとうばと民俗2 琉球・沖縄文化の背景を形作っている民俗（年中行事や信仰など）について学びます。	赤嶺 政信	
11/2 (土)	⑪ しまくとうばの子音 音声学を踏まえて、しまくとうばの子音について見ていきます。	中 本 謙	⑫	しまくとうばの文法1—名詞と助詞①—「名詞+助詞」の形は、文を作るときの基本の一つです。そのパターンを学びます。	中 本 謙	
11/9 (土)	⑬ しまくとうばの文法2—名詞と助詞②—「名詞+助詞」の形を前回に引き続いで学びます。	中 本 謙	⑭	しまくとうばの文法3—動詞・形容詞①—「動詞」や「形容詞」の形は、さまざまに変化するのが特徴です。そのパターンを学びます。	西岡 敏	
11/17 (日)	⑮ しまくとうばの文法4—動詞・形容詞②—「動詞」や「形容詞」の活用形を前回に引き続いで学びます。	西岡 敏	試	模擬試験	センター	

*講座の日程と内容については変更になる可能性もございます。

*台風等の悪天候や自然災害が発生した場合は休講となり、別の日に改めて講座を実施いたします。

令和元年9月28日(土)～令和2年2月15日(土) (12月28日(土)、1月4日(土)講義は休み)



西岡 敏

沖縄国際大学 日本文化学科 教授
専門分野 言語学
著書:『沖縄語の入門 たのしいウチナーグチ CD付改訂版 (共著・2006年・白水社)』
『しまくとうば読本 (監修・沖縄県)』他

仲間 恵子

琉球大学、沖縄大学、沖縄国際大学 非常勤講師
沖縄言語研究センター 研究運営委員
専門分野 琉球語学
著書:『久志地区の方言』『金武町の方言』
『言語 名護市史本篇 10 (2006年・名護市教育委員会)』他

下地賀代子

沖縄国際大学 日本文化学科 准教授
専門分野 日本語学・琉球語学
著書:『つかえる たらまふつ辞典—多良間方言基礎語彙一 (2017年・多良間村教育委員会)』
『—たらまふつ副読本—シュダツズマンパイル (2019年・多良間村教育委員会)』他

赤嶺政信

琉球大学 国際言語文化学科 教授
専門分野 民俗学・文化人類学
著書:『シマの見る夢 沖縄民俗学散歩 (1998年・ボーダーイング)』
『キジムナーの民俗学 (2008年・沖縄タイムス社)』他

波照間 永吉

名桜大学 大学院特任教授
沖縄県立芸術大学 名誉教授
専門分野 琉球文学・文化学
著書:『南島祭祀歌謡の研究 (1999年・砂子屋書房)』
『新編沖縄の文学 (2003年・沖縄時事出版)』他

大城 學

琉球大学 前教授
専門分野 芸能学
著書:『沖縄新民謡の系譜 (1996年・ひるぎ社)』
『琉球・沖縄の芸能—その継承と世界へ拓く研究 (2012年・彩流社)』他

※認定試験合格者へは認定証を発行致します。

月日	1コマ目 (9:00~10:30)			2コマ目 (10:40~12:10)		
11/23 (土)	⑯	しまくとうばを音声記号で表記する1 (沖縄北部) 一般音声学で学んだことを生かして、沖縄北部 (国頭語) のしまくとうばを音声記号で書くことにチャレンジしていただきます。	仲間 恵子	⑯	しまくとうば講座実践報告 しまくとうば教育に携わっている立場から、いろいろな事例報告をし実践の問題点などについてお話しします。	仲原 穩
12/8 (日)	⑯	しまくとうばを音声記号で表記する2 (宮古) 一般音声学で学んだことを生かして、宮古のしまくとうばを音声記号で書くことにチャレンジしていただきます。	下地 賀代子	⑯	しまくとうばを音声記号で表記する3 (八重山) 一般音声学で学んだことを生かして、八重山のしまくとうばを音声記号で書くことにチャレンジしていただきます。	下地 賀代子
12/14 (土)	⑯	しまくとうばを音声記号で表記する4 (沖縄中南部) 一般音声学で学んだことを生かして、沖縄中南部のしまくとうばを音声記号で書くことにチャレンジしていただきます。	仲間 恵子	⑯	しまくとうばを音声記号で表記する5 (奄美) 一般音声学で学んだことを生かして、奄美的しまくとうばを音声記号で書くことにチャレンジしていただきます。	内間 早俊
12/21 (土)	⑯	しまくとうばと語彙1 しまくとうばの語彙の中から親族を表すことばを取り上げて見ていきます。	仲原 穗	⑯	しまくとうばと語彙2 しまくとうばの語彙の中から気象・季節を表すことばを取り上げて見ていきます。	仲原 穗
1/11 (土)	⑯	しまくとうばの文法1 「名詞+助詞」、「動詞」「形容詞」の活用をもとにさまざまな文の作り方について学びます。	西岡 敏	⑯	しまくとうばの文法2 動詞の活用の種類や不規則なパターンについて学びます。	西岡 敏
1/26 (日)	⑯	しまくとうばの文法3 文と文をさまざまな形でつないで、複文にする方法を学びます。	西岡 敏	⑯	しまくとうばの文法4 動詞にさまざまな要素を加えて、さまざまな意味を作ることについて学びます。	西岡 敏
2/1 (土)	⑯	しまくとうばと文学 オモロや琉歌、島々の古謡など、しまくとうばで作られた文学についてお話しします。	波照間 永吉	⑯	しまくとうばと芸能 琉球・沖縄文化の華である琉球舞踊や組踊、島々の民族芸能について学びます。	大城 學
2/8 (土)	⑯	しまくとうばの文法5 しまくとうばの敬語の表現について学びます。	西岡 敏	⑯	総括	狩俣 繁久
2/15 (土)	試	認定試験	センター			

しまくとうば講師養成講座初級

■開催概要

令和元年9月28日（土）より、午前9:00～午後12:10

【講座31回+認定試験1回=全32回（17日間）】

○開催場所 公立大学法人名桜大学 北部生涯学習推進センター 一階 研修室②

名護市字為又1220-146（名桜大学キャンパス内）

○対象 16歳以上（平成16年4月1日以前に生まれた者）

○募集定員 40名（先着順となります）

○申込方法 郵送または持参

○募集期間 8月1日（木）～9月13日（金）（消印有効）

○受講料 無料

○主催 沖縄県しまくとうば普及センター・公立大学法人名桜大学

○申込先 沖縄県しまくとうば普及センター ☎ 098-988-0411

北部生涯学習推進センター



公立大学法人
名桜大学



申込・問合せ先

沖縄県しまくとうば普及センター

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁8階 文化振興課内

TEL : 098-988-0411